

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

常盤台地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

常盤台地域ケアプラザの4連合町内会地区（上星川地区・常盤台地区・中央東部地区・和田地区）における共通の課題は、①更なる地域ネットワークづくり「つながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「支え合い」の推進③災害を見据えた日頃からの「防災」活動④地域におけるボランティア等、新たな「人材の発掘」等が挙げられます。

28年度は第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画（5ヵ年計画）の実施初年度であり、地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)の一員として懇談会等の様々な場を通じて計画推進の一助を担ってまいりました。

各地域の状況としましては、常盤台地区は「人材バンク」をテーマに開催したワークショップを契機に、「助け合いバンク(仮称)実行委員会」を立ち上げ、ケアプラザとしては事務局としてお手伝いをする事になりました。

上星川地区は民生委員を中心に「ちょいボラグループ」が立ち上がり、ケアプラザとしても連携して要援護者の支援を行ないました。

和田地区は「ほっとなまちづくり推進委員会」を定期開催して準備し、2月に「第2回ワールドカフェ」を開催して、幅広く住民意見を交換しました。ケアプラザとしても、ファシリテーターとして、企画段階から関わらせていただきました。また、広報委員会を通じて準備した広報紙「はーとぴあ」を3月に発行しました。

中央東部地区は、狭隘道路や坂道の多さ、住民が集まれる公共施設が無いといった地理的な課題があります。そのことを確認する意味で、8月にケアプラザを含めた支援チームで街歩きを行いました。また、鎌谷地区の介護予防事業をケアプラザ主導で展開し、「転倒予防体操教室スマイル」を2月に立ち上げました。

本ケアプラザ担当地域は、山坂が多く、プラザに足を運びにくい方々も多くおられます。出来るだけ現地に足を運ぶことで、地域住民に負担を掛けないように配慮しました。また、地域ケア会議や協議体を通じて、各地域住民の方々との一歩踏み込んだ話し合いを行いました。今後も更に協働できる関係づくりを目指していきます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設であることを踏まえて、ご利用者が安心・安全にご利用いただけるような施設管理に努めてまいりました。

具体的には、空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検については、専門の事業者へ委託して、定められた内容の点検を行い、各事業者との連絡調整により確実な現状把握を行いました。また建築基準法にともなう点検を実施し、その結果を区に報告し、適切な保守・修繕の計画を行いました。

館内の清掃は事業者により各月の休館日に行い、その他、毎日の館内点検・清掃等は職員が行いました。植栽等は職員・ボランティアによって保全管理しました。

また、本年度は全館の換気扇及び空調機分解清掃を10月に実施しました。

1階デイサービスフロアの清掃は休館日前日である第4日曜日に行いました。清掃日を分けることで、各々の清掃により時間をかけることができました。

イ 効率的な運営への取組について

(1) ケアプラザの運営費は税金から支出される指定管理料、そして介護保険料と税金を財源とした介護報酬および利用者からの利用料金から成り立っています。いずれも利用者が満足を得るサービスの対価であることを、職員一同肝に銘ずる必要があります。そのために、利用者の満足度を引き上げる計画性をもった事業執行に努めました。

(2) 施設利用者の満足度を上げるためには、地域・利用者のニーズに根ざした事業展開を図る必要があるため、地域活動、地域包括、生活支援体制、居宅介護支援、通所介護の各部門とも、適切な年間事業計画のもとでの事業遂行に努めました。

(3) 利用料金収支の健全化、運営費の適切な運用には、事業計画に基づいた適切な職員配置によって、人件費の節約を図ることが求められます。専門的に配置されている職員が、自らの職域のみに埋没することなく、プラザ全体の協働意識の中で専門性を発揮できるようにするとともに、その補佐をすることで効率的な事業執行を進めるために、適時、非常勤職員の雇用をしました。また、施設管理や通所介護部門においては、ボランティアの協力のもとで経費節減を図りました。

(4) 施設の省エネを実行するため、国の省エネ法に基づく「管理標準」を策定しました。マニュアルを定めて、しっかりと省エネ対策に取り組み、さらに取組状況を把握することでより効率的な対策を図りました。

(5) 施設・設備管理においては、確実な保守点検による早い対処によって、長期の経年使用ができるよう努めました。修繕については区と協議の上、適切に対応しました。

(6) 経費節減によって得た利用料金収入は、新たな事業計画の資金とし、また安定した雇用を確保するための財源として有効活用しました。

(7) 地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら全体の事務作業の効率化に努めました。

(8) 建物管理、保守等の経費を合築施設のコミュニティハウスと適切に按分負担し、負担の効率化を図りました。

ウ 苦情受付体制について

本地域ケアプラザで実施している事業毎に、苦情相談窓口を設置しており、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました（ご意見が容易にできるよう意見箱を設置しています）。寄せられた苦情については、施設内の事故・苦情解決委員会において施設としての対応を検討し、回答を意見箱の上に掲示しました。

改善できるものについては、できるだけ早く改めるように努めました。さらに、多様な視点からの意見に耳を傾けるため、第三者委員会を開催し、苦情解決に向けて適切な体制を整備しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

本プラザでは、消防計画に基づいた、貸し館利用者・通所介護利用者の参加による消防訓練を年2回実施しました。避難通報訓練の他、消火訓練、救命講習等を適宜組み合わせて実施しました。研修として、横浜市民防災センターの見学も行ないました。

また、防災委員会を定期開催して防災課題の解決に努めました。

館内には、消火設備（消火器）位置や避難経路等を掲示して、来館者にお知らせしています。

また、コミュニティハウスと共同防火管理協議会を設置して、協議のうえ適切な防火管理を行うとともに、共同で消防訓練を実施しました。

夜間の防犯・防火管理については、専門業者に委託して適切な管理を行っています。

また、横浜市より特別避難場所としての指定を受けているため、災害時に地域防災拠点では、避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、食料、水、毛布、紙オムツ等の備蓄を進めました。

防犯対策としては、職員による日々の開館・閉館時間の記録を行っており、職員不在時間の把握に努めました。建物警備については、閉館時間帯に異変が起きた場合には警備会社が警備員を派遣し、地域ケアプラザ責任者に電話報告を行うよう体制を整備しました。また、職員による日々の点検・清掃記録を実施しました。

オ 事故防止への取組について

日々の職員及び利用者の方々の気づきによって建物内の危険箇所を把握し、改善に努めました。

万が一事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行いました。

日頃からケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、マニュアル内容を周知するとともに、ヒヤリ、ハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行いました。

事故予防・事故対応マニュアルは、事務所に誰でも閲覧できるようにしています。

また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、介護保険事業者の場合には、「介護保険事業者における事故発生時の報告取扱い要領」に従い発生後速やかに区、市に報告しました。

28年12月より、区への事故報告の基準やルールが変更になったため、職員全体に周知を致しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(1) 個人情報の保護について

- ①横浜市個人情報保護条例、法人マニュアルをもとに年1回以上職員に対しての研修を行い、また職員の採用毎に研修を行って個人情報漏えい防止チェックシートを記入してもらうとともに、個人情報保護に関する誓約書の提出を求めました。
- ②電算機に関する個人情報はパスワード設定による管理を行い、USBメモリー等の電磁媒体による個人情報管理は禁止としており、ノートパソコンは鍵のかかる場所に保管しました。
- ③コンピューターはLAN構築し、各端末機に立ち上げの際のパスワード設定を行い、安全管理しました。ウイルス対策等のWEB上での安全管理については、ウイルス対策ソフトを導入し、安全対策を行いました。また、インターネット接続の際はプロバイダーによるフィルタリングを行い、安全性を高めました。
- ④個人情報の送付は郵送を原則とし、請求書等の郵便物の封入は2人以上のチェックにて行いました。FAXによる場合はマスキングのうえ、2人以上の確認で送付しました。
- ⑤個人情報が記載されたファイル等の施設外持ち出しは、事前に上司の許可を得た場合以外は禁止しました。

(2) 情報公開について

- ①「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めました。
- ②本プラザに関しての情報公開として、「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」、「ケアプラザの管理に関する年度協定書」のほか下記のもの进行掲示、ファイリングして公開しました。また「利用者アンケート結果」についてもファイリングして常時掲出しました。

事業報告書	事業計画書	収支予算書
決算報告書	運営規定	契約書・重要事項説明書
所長へのご意見	倫理規程	第三者評価結果シート
個人情報保護に関する基本方針	組織図	個人情報保護に関する基本方針
特別避難場所の協力に関する協定		

- ① 法人なでしこ会ホームページ上で法人の決算書の公開をしました。

キ 情報公開への取組について

本プラザにおいて情報開示の請求があった場合には、「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に、「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めました。

本プラザに関しての情報公開として、事業報告書、決算報告書、「利用者アンケート結果」等をファイリングして公開しました。また、事業所評価結果（自己評価）を施設入口に掲示しました。

さらに、本プラザ広報紙や区の広報、「ほっとなタウンマップ」ホームページ等を活用して、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 人権啓発への取組について

横浜市人権施策基本方針に則り、全職員に対して倫理規定を基にした倫理研修を実施し、幅広い人権理解及び人権意識の向上を目指しました。

権利擁護の啓発を目的とした自主事業を開催し、地域住民に権利擁護の周知を図るとともに、相談に対する助言も行ないました。

館内に成年後見制度、障がい者制度、消費者被害防止などに関するポスター、チラシを掲示して幅広い人権の啓発に取り組みました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ごみゼロルート回収を実施し、市役所ごみゼロのルールに基づいた適切な分別・リサイクルを職場全体に浸透、定着させるよう努めました。

また、保土ヶ谷区役所と協力して施設の緑化推進に取り組みました。具体的には、屋内外の植栽の維持管理等、環境保全にも協力するとともに、本ケアプラザ・コミュニティハウス2階光庭部分をウッドデッキ化し、地域のボランティアを活用したガーデニングスペースとして緑化を行いました。

「省エネ法」に基づく「管理標準」を策定し、適切なエネルギーマネジメントを目指しました。

裏紙使用の推進、適正な冷暖房設定、不要な照明の消灯等、管理経費の削減とともに地球温暖化防止にも配慮しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	1名（常勤専従）

《目標》

要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成します。また、引き続き自立支援が図れるような目標設定をして介護予防プランの作成を行います。本年度は段階的に介護予防ケアマネジメントに利用者が移行された為、利用者数は減少しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 自己負担なし（全額保険給付）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

サービス対象地域：鎌谷町・峰沢町・岡沢町・常盤台・和田1～2丁目・
峰岡3丁目・上星川1～3丁目・釜台町

介護予防の相談は、保健師を中心として、主任介護支援専門員、社会福祉士が介護認定申請受付から認定後のサービスのケアプラン作成委託までをワンストップの窓口として機能します。

介護認定に移行された場合のケアマネ同行訪問をできるだけ行う等、居宅介護支援事業者とのスムーズな連携に努めています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
28	24	23	21	16	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	7	7	7	7	7

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。

本年度は地域包括支援センターと連携し、新規ケース等について迅速な対応に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 自己負担なし（全額保険給付）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

主任ケアマネジャーを配置し、特定事業所加算Ⅱを取得しています。

毎週居宅介護支援会議を行い、担当ケースについての情報共有を図るとともに、研修も行って各ケアマネジャーのスキルアップに努めています。

男性2名、女性1名のベテランケアマネジャーを配置し、利用者・ご家族の希望により男女の選択ができるようにしています。

地域包括支援センターと連携して、独居・虐待等のいわゆる困難ケースの対応にも力を入れています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
103	105	106	105	101	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	109	107	103	102	102

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- アクティビティ等
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 704 円
 - (要介護2) 831 円
 - (要介護3) 963 円
 - (要介護4) 1,095 円
 - (要介護5) 1,227 円
- (入浴介助加算) 54 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

《事業実施日数》

- 週 6 日

《提供時間》

- 提供時間 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	3名（常勤兼務）
看護師又は准看護師	4名（非常勤兼務）
介護職員	13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
機能訓練指導員	4名（非常勤兼務4名）
送迎員	4名（非常勤兼務）

《目標》

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。

28年度の延べ利用人数は、前年対比で（介護予防）通所介護は3%減（79名減）となりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
539	547	542	501	517	482
10月	11月	12月	1月	2月	3月
471	504	475	476	454	535

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- アクティビティ等
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766 円
 - （要支援2） 3,621 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

《事業実施日数》 ○事業実施日数 週 6 日

《提供時間》

●提供時間 9：30 ～ 16：35

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 生活相談員 3名（常勤兼務）
 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）
 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
 送迎員 4名（非常勤兼務）

《目標》

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状況に応じて、予防通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護とアクティビティを行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。
- ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4	4	4	4	4	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	5	5	5	5	5

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 入浴
- 食事
- アクティビティ等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 941 円
 - （要介護2） 1,042 円
 - （要介護3） 1,142 円
 - （要介護4） 1,244 円
 - （要介護5） 1,345 円
 - （入浴介助加算） 54 円
- 食費負担 800 円
- 紙おむつ代/枚 80 円
- 紙パンツ代/枚 100 円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：00

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
生活相談員 3名（常勤兼務）
看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務）
介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名）
機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
送迎員 4名（非常勤兼務）

《目標》

ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体状況に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。

28年度の延べ利用人数は、前年対比で認知症対応型通所介護も10%減（55名減）となっております。利用回数の多いご利用者の利用中止が多かったことや、また、近隣にデイサービス施設がかなり増加しており、競争が激化していることも理由と考えられます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
91	97	86	76	90	83
10月	11月	12月	1月	2月	3月
95	99	64	71	68	83

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- 自治会町内会や食事会・サロンで認知症や介護保険の説明を実施してきた中で、利用者から民生委員→ケアプラザへ相談という流れが出来ており地域支援へつながっています。
- 小学校の社会見学の際に、ケアプラザの機能周知及び認知症サポーター養成講座を行いました。
- 各自治会、保土ヶ谷中学校、横浜国立大学に出張し、ケアプラザの機能周知及び認知症サポーター講座を行いました。
- ときわカフェ、認知症カフェにケアプラザ職員が入り、日常生活での困りごとを聞き取りました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- 本年度から5職種会議を毎月開催し、情報共有に努めるとともに、その時間に合わせ個別課題及び地域別の情報分析を行いました。
- 地域ケア会議や生活支援体制整備事業の協議体を通じて、5職種各々の立場から地域課題を考えました。

3 職員体制・育成

- 法人全体での感染症予防委員会を継続実施しました。
- 個人別の研修計画に沿って研修を受講し、振り返りを行いました。
- 全体職員会議の中で、認知症研修や個人情報保護研修等を実施しました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- エリア内4連合地区の定例会に出席し、各地域の自治会長・民生委員他の方々と積極的な意思疎通に努めました。
- 個別地域ケア会議及び包括エリア地域ケア会議を開催しました。本年度は、自宅周辺環境が不便なケースを取り上げて、ハード・ソフト両面からの解決を検討しました。
- 多職種連携会議を開催し、医療・介護の連携に努めました。
- エリア別の子育て支援連絡会を通じて、横浜国大の学生と保育園の連携がすすみました。また、多世代交流の重要性等を共有しました。
- ワークショップの活動と地区社会福祉協議会が連携して、支え合い活動の活性化に向けた議論の場が定着しました。

5 区行政との協働

- エリア内4地区それぞれにおいて第3期福祉保健計画（ほっとなまちづくり）地区別計画推進に向けた懇談会を開催しました。ケアプラザとして細かな地域情報の提供を行いました。
- 5職種会議等を通じて地域情報を共有・分析しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地区社会福祉協議会の打合わせ、会議に参加したことで、活動内容を把握でき、地域の取り組みや目指している方向性などが明確になりました。
- 生活支援コーディネーターとの情報共有を密にすることで、各地区の取り組みや地域情報などが更に明確に整理出来ました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 登録利用団体説明会を開催して、あらためて、保健福祉を目的とした施設であるという視点から、利用方法の説明を行いました。アンケートによると大半がご理解いただけたとの結果になっています。今後もケアプラザを通じて地域の活性化を目的とした周知を心掛けていきます。
- 利用者団体の冊子については、秋頃完成の予定がずれ込み今年度中には作成予定です。現在A4のチラシでの掲示と配布を行っています。

3 自主企画事業

- 父親育児講座を開催して、3組の参加者がありました。父親だけの募集だとなかなか参加が難しい点が多いことが分かりました。今回の開催を踏まえて来年度は母親・父親と一緒に企画で開催を予定していきます。
- 障害児の余暇支援は2月25日に外出企画で開催します。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティアの活躍の場として、子育て広場での見守りボランティアが継続して参加してくれています。障害児の余暇支援活動などにも参加していただき、活動範囲が確実に広がってきています。
- 活動の場を情報発信していることで、デイサービスや地域のイベントなどにも定期的に参加しているボランティア団体が増加しています。
- 上記の活動に伴い、いきいきポイントが有効利用されています。
- ボランティア感謝祭を開催して、互いの交流を図るとともにケアプラザへの要望を伺う機会としました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

(目標)

- 各地区の自治会、民生員と連携し、個別の情報を迅速に受け取り、対応するよう勤めました。
- 包括圏域、及び周辺が多職種（医療、介護、福祉等）とも連携し、情報収集しました。
- 様々な事業を地域に向けて行い、情報発信と収集の機会としました。
- 総合相談を受けた方、また担当関係者と継続的に関り、情報共有し実際的な地域診断につなげました。
- 包括内で情報共有し、対策の検討などを行いました。

(具体的な計画)

- 各自治会と連携し、老人会や会食会、体操教室、出張講座等の地域活動への参加を通し、地域における情報交換や課題を把握しました。 ○認知症ネットワーク SOS に参加する地域ネットワーク充実に取り組み、包括圏域で 10 件の登録になっています。
- ケースの経過を把握する為に、地域のケアマネージャーと日常の連携、事例検討会の開催等を通して情報収集し、実際的な統計、地域診断に役立てました。
- ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握し、必要な方には適宜訪問、介護保険などによる支援の開始、介護予防事業参加への働きかけをしました。
- 自主事業を通じて他分野の専門家の方と連携し、地域の問題解決に活かします。
- 5 職種連携会議、包括連絡会議、包括内事例共有等を通して、情報共有を図りました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 既存の地域事業を継続しネットワークの充実を図りました。
- 認知症ネットワーク SOS
 - ・ 10 件の登録、実際の SOS は多数発動しました。
 - ・ 区域地域ケア会議のワールドカフェを通じて、地域の協力機関の方々と顔の見える関係を築くことができました。
- ピーポーワン
 - ・ 登録件数も 50 件を超えました。
 - ・ 集合住宅全体での問合せも受けています。
 - ・ 犬を飼っている若い世代と道端での交流が出来るようになり、地域のつながり強化を実感しています。
- 認知症オレンジカフェ開催
 - ・ 地域の施設 4 箇所と協働しオレンジカフェ開催しました。
 - ・ 4 月、6 月、7 月、9 月、11 月、12 月に合計 8 回開催しました。
 - ・ 地域の方への認知度も広がり、ボランティアとしての参加も多種、多人数になっています。
 - ・ 内容も、認知症の方の活力アップの為にプログラムから、地域の方々の参加型プログラムまで 充実したものとなっています。
- ときメイト
 - ・ 認知症キャラバンメイトさん 18 名（一般の方、病院看護師、管理薬剤師、民生委員ケアマネージャー等）の定例会を 2 回開催し、今後のサポーター養成講座の

取り組み方等について検討しました。

- ・区のメイト連絡会にご参加いただき、認知症サポートについての意識を深めていただきました。

○多職種連携会議

- ・7月に、星川CPと2包括合同で開催、11月に区全域合同開催しました。
- ・今までの出席機関に限らず、全ての機関に訪問問い合わせを行い、多くのご出席を頂きました。
- ・特にはじめて御出席いただく薬局や事業者さんが目立ち、今後も益々あきらめずに新しい機関にアプローチしてゆきます。
- ・「参考になった」「今後も継続開催希望」等、意見を多数いただき、今後の連携に役立つものとなりました。

○各地区の自治会、地区社協、民生委員と連携し、地域における情報交換や課題把握、ネットワーク構築を図りました。

○地域ケア会議を2事例で開催、多職種参加の事例検討会として1事例を実施しました。各々、理学療法士協会から理学療法士さんを派遣いただき専門のご意見をいただきました。その他、多くの意見を頂き、地域での課題解決に結びつくものも多数ご提案いただきました。

○包括圏域ケア会議を開催予定です。地域の共通課題として、今年度『自立を妨げる環境～急坂・階段・柵』を取り上げ、検討をする予定です。

○地域のケアマネージャーと定期的に事例検討会を行いました。ケアマネジメント力のベースアップと共に、地域のケアマネージャーの顔の見える関係作り、多様な提案の共有など有意義な結果を得られました。

実態把握

○個別情報の経過を追う為、ケアマネージャーとの連携を強化しました。

- ①事例相談、同行訪問などケアマネージャーが相談しやすい環境作りをしました。相談件数は毎月数十件に及び、地域居介支に浸透してきたと感じられます。
- ②地域のケアマネージャー対象に、地域包括ケアの必要性を周知し、情報収集に協力を求めましたが、地域包括ケアの中に自分が入っているとはっきり認識しているケアマネージャーは少なく、今後も合同ケアマネ連絡会や、事業所訪問などの機会に周知の必要があると感じています。

○多職種連携会議、地域ケア会議、地区社協運営会議、SOS 協力機関、サポーター養成講座、認知症カフェ、ピーポーワン、ときめいと連絡会、国大ワークショップ等を通して、情報提供を依頼しました。様々な機会に個別の情報や地域の課題を受信していますが、やはり、民生委員、ケアマネージャーからの情報量が大半です。

○各自治会の老人会や会食会、体操教室、出張交差等の地域活動へ参加し、情報交換、地域課題の把握を図りました。

○民生委員と密な連携を構築し、随時発生する事案に対し、個別相談、同行訪問により、実態把握しました。また、事例によっては民生委員と高齢者の家族同士の調整等も実施しました。

○ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握しました。

○マップの情報を随時更新しました。公表しているマップの他に、包括内の情報共有マップの作成も開始しています。

2 権利擁護

権利擁護

○終活講座として受講対象を地域の方・事業所向けに広げて開催しました。

- ・1回目「遺言・相続」講座は市民公開講座としてコスモス成年後見サポートセンターと共同して無料相談会と合わせて開催しました。
- ・2回目「終活講座・断捨離」のテーマで福祉整理の講座をコミュニティーハウスと合同で開催しました。あんしんネットに依頼し「孤独死・高齢者のゴミ問題」について実例を挙げて対処法を学びました。地域支援の中の合同開催で、子育て世代、介護世代、幅広く様々な方に参加していただきました。
- ・3回目「成年後見制度、日常生活自立支援事業」について、司法書士・あんしんセンター職員の方へご協力いただき講座開催いたしました。民生委員・ケアマネージャーなど実務に役立つ為の参加もあり、毎年開催していますが今後も継続して企画する必要性を感じました。
- ・4回目「空き家対策・リバースモーゲージ」について住宅街で問題になっている空き家と老後の人生設計に役立つリバースモーゲージを司法書士・銀行職員へ協力いただき講座を開催しました。ケアマネージャー、自治会役員さんの参加あり参加者の質疑応答で興味の深さを確認できました。

高齢者虐待

○8月に横浜市高齢者虐待防止事業指針、高齢者虐待防止マニュアルが配布されました。改訂版マニュアルの説明会・研修に社福士部会で出席し新マニュアルの確認を行いました。

○10月にケアマネ連絡会にて「虐待に対するアンテナを高くし視野を広げる」というテーマで研修会を開催、多くのケアマネージャーと共に事例検討をして理解を深めることが出来ました。

○ネットワーク構築を目的として
10月に訪問介護連絡会・通所介護連絡会それぞれに出向いて「虐待研修会」を開催し実際のケース対応の仕方など具体的に実務に役立つ情報を共有できました。

認知症

○サポーター養成講座について
4月に「ピーポーワン」登録者を対象にサポーター養成講座を開催しました。次年度も継続して開催予定です。保土ヶ谷中央病院のオレンジラインチームの協力の元「保土ヶ谷中央病院」の職員向けにサポーター養成講座を開催しました。病院内の受付等業務に役立つ講座として好評でした。
今年度も保土ヶ谷中学校・横浜国大など平成29年2月、3月に開講予定です。現在キャラバンメイト「ときメイト」のメンバー中心に企画をしています。

○認知症高齢者見守り事業「ピーポーワン」は平成27年秋より事業開始して、現在登録者約55名です。今後も市街地・近隣の公園やケアプラザ前などでボランティア登録を呼びかけていきます。

○「オレンジ・ボラ」事業では「オレンジカフェ」へ認知症の方も活躍できるよう参加を呼びかけています。今後も民生委員さんにも協力いただき地域の認知症の予備軍の方や閉じこもりがちの方等に参加を呼びかけていきます。

○認知症カフェは平成28年4月から12月まで7回開催、「さくらカフェ」「レコードカフェ」「夕涼みカフェ」等々毎回テーマと開催内容に趣向を凝らし企画していま

す。音楽療法の全員参加型「音楽会」や野菜の収穫をカフェに取り入れた「収穫祭」など、参加者が楽しく参加できて、また増員につながるよう開催しました。
 ○認知症家族の会「ゆうづる」は隔月に開催しています。介護者同士の会話に勇気をもたらったり悩み解消の糸口につながったり癒しの場にしつつ、施設見学、福祉用具の勉強会、薬講座など開催しています。参加することで少しでも介護に役立つ家族の会になるよう、参加者の意見をお聞きしながら企画しています。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

○事例検討会を毎月開催し、特に、対応困難と感じている事例を地域のケアマネージャーで検討し、課題解決力の向上を図りました。
 ○介護予防体操等をケアマネージャーが体験できる機会をもうけ、体力向上を踏まえたケアマネジメントの重要性を知っていただきました。
 ○予防成功事例をケアマネージャーにフィードバックし、ケアマネジメントの方向修正を図りました。
 ○『補完型ケアプラン』より『能力活用生きがい獲得ケアプラン』の視点で考えるトレーニングを繰り返し事例を通して行いました。
 ○新任ケアマネージャー対象の研修を行い、介護予防、自立支援の考え方を学ぶ場としました。
 特に、新任ケアマネージャーとの実践同行指導は効果が高いと感じました。
 ○ケアマネージャーからの個別相談に対し、介護予防、自立支援を踏まえたケアプラン作成支援、困難事例支援、家族調整、他機関との調整、同行訪問、担当者会議出席などの対応をしました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

○地域包括ケアの周知の機会を作りました。
 ①各自治会・町内会・老人会等のサロン等を利用し、出張講座を開催介護保険制度、地域包括ケア等の説明をし、周知と協力要請をしました。
 ○地域課題を把握し、関係者と共有しました。
 ①相談票の統計から地域課題を抽出、包括カンファレンスで地域課題を把握する材料とし、地域ケア会議の事例選定に役立てました。
 ②ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」で、民生委員と協力し情報収集、訪問を行いました。
 ○地域ケア会議で抽出された地域課題を検討し、包括圏域の地域ケア会議に挙げ、地域全体の課題として取り組む予定です。
 ○5職種の定例会を実施し、情報共有を促進しました。

医療・介護の連携推進支援

○2 包括共催、区全域と 2 回の多職種連携会議を開催しました。地域包括ケアのチームメンバーであるという意識付け、共通の課題抽出、顔の見える関係作りに成功しました。
 ○合同ケアマネ連絡会に医療職の方を招きました。
 ・認知症専門医を招き、認知症の方の支援方法を学びました。
 ・精神科福祉士を招き、精神疾患と自殺予防の知識を得ました。

- ・保健師を招き、自立支援型介護予防プランの立て方を学びました。
- ・総合病院医師を招き、虐待についてレクチャーを受けました。
- ケアマネジャーの事例検討会に医療職の方を招きました。
 - ・薬剤師を招き、在宅療養において服薬の際の留意点を実験を交えて学びました。
 - ・管理栄養士を招き、低栄養を乗り越える為の献立法等を学びました。
- 地域ケア会議、事例検討会に理学療法士の出席を頂き、専門的な意見を頂くことができました。今後、医師、看護師等の出席を頂く地域ケア会議を引き続き計画しています。
- 地域の開業医院、中核病院を訪問し、個別の支援依頼、情報交換と共に地域包括ケアについて発信しました。
- 個々のケースについて、主治医、地域連携室、退院調整看護師と連携しました。特に、自宅での看取り事例や、独居の認知症のかたの事例の件数が激増しています。その方の必要に応じて、医療機関と迅速に連携しました。

ケアマネジャー支援

- 新任ケアマネジャー研修を実施しました。
 - ①座学により、横浜市のサービス、他法、インフォーマルサービス等を学びました。この場合は、新任のみならず、多職種へもオープンし今年度開始の生活支援コーディネーターも多数参加しました。
 - ②個別に臨場体験同行しました。新任ではひとりで体験しづらいがん末期の症例などに同行し、新しい体験として今後の動機付けにも役立ちました。
 - ③施設見学をし、各々の施設の差異を学ぶ場を提供しました。座学ではなく、実際に施設を見学し各々の役割を体感できたとの感想を多数頂きました。
 - ④市福祉機器センターで福祉機器、在リハ等を学びました。
- 事例検討会で毎月、困難事例の対応方法を学びました。
 - ①グループワークで対応方法を検討しました。
 - ②多職種の講師から学び、マネジメントに活かしました。
- 個別相談を受け、気づきを促し、自身で解決できるよう支援しました。
 - ①電話相談、面接相談、同行訪問、サービス担当者会議開催支援、地域ケア会議により支援しました。
 - ②情報提供継続支援を行いました。
 - ③区役所、社協、民生委員、地域資源、医療機関、警察等多職種との仲介を支援しました。
 - ④ケアマネ連絡会を定期開催し、学びの場を提供しました。
 - ⑤日頃から居宅介護支援事業所を訪問、情報提供すると共に、相談しやすい環境を作りました。
- 主任ケアマネジャーの育成を行いました。
 - ①ファシリテーター研修を行い、今後の地域でのワークに役立てました。
 - ②地域包括ケアの意識付けをしました。
- 民生委員と連絡会を開催し、地域包括ケアを協働することができるよう、働きかけました。
- 区ケアマネジャー連絡会である「ほどがやケアマネット」の幹事として研修開催の支援をしました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

○過去の多職種連携会議に出席した機関に留まらず、圏域全ての医療機関、事業所に会議出席のお願いと地域包括ケアの説明の為に訪問しました。その結果、区全域合同多職種連携会議において、52機関より出席を頂き、ケアマネージャーはじめ、顔の見える関係を作ることが出来ました。

○認知症オレンジカフェにおいて、音楽療法、地産野菜、華道・茶道ボランティア、カフェ運営など、地域の方のボランティア参加を多数頂くなど、ネットワークが充実してきています。

○地域ケア会議、事例検討会に於いて、理学療法士、管理薬剤師、管理栄養士、運動療法士、施設相談員など地域の方の多職種の方にご参加いただき、専門的な提案を受け、地域課題の解決に向けた検討がなされました。

○ケアマネージャーとの医療機関との連携を同行、ケアプラン支援などの形で支援しました。

介護予防事業

介護予防事業

既存グループのリーダー支援として、連絡会を実施しました。また、継続支援として、体力測定や健康教育を行うなど支援しています。

きらりシニア塾は、区の担当保健師と連携をして新たに3グループ立ち上がりました。ケアプラザから遠く課題の多い地域である鎌谷町で介護予防講座を4回コースで実施しました。地域から体操グループとして継続していきたいとの声もあがったため、生活支援コーディネーター、保健活動推進委員と連携し、健康づくりサロンが立ち上げられるように継続して支援していきます。

生活支援体制整備事業

サロン、体操、ミニデイ等地域の活動、連合町内会、地区社会福祉協議会の会議等に参加し、活動内容や現状、今後の課題についての情報収集を行いました。また活動者や参加者、地域住民の意見等、情報をシートに記録し、アセスメントを行いました。

高齢化率を地域ごとにグラフにし、特性把握を進めました。今後もより詳しく地域特性・ニーズ把握に努められるように情報収集・整理・分析を進めていきます。

区内ケアプラザ、区役所、区社協と共同で生活支援体制整備事業説明用のチラシを作成し、活動者や地域に向けて事業内容説明を行いました。また広報誌に記事を掲載し、合わせて周知に努めました。

ケアプラザ内で情報共有を行い、地域の資源活用、新規資源開発を検討しました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	14,685	24,733	149	0	0	0	0	0	4,978
	介護保険収入	0	0	0	2,259	21,288	59,335	957	12,615	0
	その他	0	0	0	2,376	392	7,698		916	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	2,376	0	0		0	0
	認定調査委託料	0	0	0	0	392	0		0	0
	食費収入	0	0	0	0	0	4,986		802	0
	日用品等収入	0	0	0	0	0	11		1	0
	社福軽減補助金	0	0	0	0	0	2		55	0
	借入金利息補助	0	0	0	0	0	224		0	0
	経常経費寄付	0	0	0	0	0	3		0	0
	受取利息配当金	0	0	0	0	0	1		0	0
	受入実習費	0	0	0	0	0	150		58	0
	雑収入	0	0	0	0	0	71		0	0
	設備資金借入償還補助	0	0	0	0	0	2,250		0	0
	収入合計(A)	14,685	24,733	149	4,635	21,680	67,990		13,531	4,978
支出	人件費	11,213	23,061	0	3,619	17,694	39,047		13,737	3,225
	事務費	1,415	3,710	0	309	870	2,322		725	
	事業費	451	163	150	59	246	4,567		1,547	397
	管理費	1,767	470	0	120	1,130	7,427		2,855	
	その他	897	0	0			3,346		132	
	消費税	897	0	0	0	0	0		0	0
	借入金利息支出	0	0	0	0	0	224		0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	115		132	0
	利用者等外給食費	0	0	0	0	0	7		0	0
	設備資金借入償還支出	0	0	0	0	0	3,000		0	0
	支出合計(B)	15,743	27,404	150	4,107	19,940	56,709		18,996	3,622
収支 (A) - (B)	-1,058	-2,671	-1	528	1,740	11,281		-5,465	1,356	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ときわの森 子育て広場	乳幼児と親	33,770		6,900	25,387	2,648	5,735
	168名						
	100円(親と子で)						
ときわの森 らくらくストレッチ 体操教室	高齢者	72,721		43,200	66,820	0	5,901
	227名						
	200円						
ときわの森 レッツトライステッ プエアロ	地域	110,868		51,900	97,988	0	12,880
	195名						
	300円						
ときわの森 ときもり倶楽部	高齢者	4,158		0	0	0	4,158
	400名						
	0円						
和菓子&パン教室	地域	52,056		21,500	33,410	15,846	2,800
	47名						
	500円・700円						
歌声サロン	地域	56,831		70,000	40,092	16,199	540
	712名						
	100円						
子育て広場 「食育について学びましょう」	乳幼児と親	4,590		900	3,000	1,590	0
	22名						
	100円						
認知症サポーター養成講座	小中高生・地域	789		0	0	789	0
	720名						
	0円						
介護者のつどい	介護者・地域	0		0	0	0	0
	28名						
	0円						
ときわカフェ	地域	21,576		21,200	0	10,871	10,705
	480名						
	50円						
ときわの森ハハトコ広場	乳幼児と親	3,955		0	0	0	3,955
	10名						
	0円						
		361,314		215,600			

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
スポーツ吹き矢	地域	9,406			0	9,406	0
	470名						
	50円						
貯筋運動	成人・高齢者	10,080		0	0	0	10,080
	116名						
	0円						
終活講座	地域	938		0	0	460	478
	121名						
	0円						
スクエアステップでエクササイズ	高齢者	6,160		0	0	0	6,160
	154名						
	0円						
社交ダンス	地域	11,680		6,400	10,000	0	1,680
	74名						
	100円						
ヨガニサイズ	地域	0		0	0	0	0
	69名						
	0円						
介護予防講座	高齢者	54,011		0	47,297	4,474	2,240
	87名						
	0円						
介護予防講座鎌谷町	高齢者	38,398		0	33,410	2,748	2,240
	50名						
	0円						
留学生から学ぶ初級韓国語講座A	地域	51,594		29,000	48,994	2,600	0
	175名						
	200円						
留学生から学ぶ初級韓国語講座B	地域	36,005		13,600	33,405	2,600	0
	85名						
	200円						
園芸ボランティア活動	地域	14,464		0	0	13,154	1,310
	113名						
	0円						
ボランティア感謝祭	地域・ボランティア	27,679		0	0	27,679	0
	35名						
	0円						
		260,415		71,400			

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
パパのための育児講座	乳幼児と親	3,029		0	0	2,829	200
	14名						
	0円						
子育て広場 プール	親子	13,259		0	0	4,204	9,055
	116名						
	0円						
中学生のためのボランティア講座	中学生	2,684		0	0	1,460	1,224
	4名						
	0円						
ニコニコママの子育てコーチング	乳幼児と親	0		0	0	0	0
	25名						
	0円						
ほっとフレンズ2016夏 ボランティア研修・説明会・夏祭り	障害児・障害者	0		0	0	0	0
	60名						
	0円						
囲碁教室	地域	0		0	0	0	0
	176名						
	0円						
ヘルキー秋フェスタ	地域	72,568		55,550	0	72,568	0
	250名						
	物販として						
親子で楽しむクリスマス人形劇	乳幼児と親	8,169		2,100	5,568	2,041	560
	57名						
	100円(親と子で)						
秋の利用者発表会	地域	42,499		42,550	0	42,499	0
	300名						
	物販として						
ほどがや区民まつりの参加	地域	0		0	0	0	0
	450名						
	0円						
登録利用団体説明会	地域	0		0	0	0	0
	30名						
	0円						
		142,208		100,200			

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
区内病院認知症講座	地域	0		0	0	0
	70名					
	0円					
音と音楽で遊ぼう	障害児	105,833		0	100,233	0
	51名					
	0円					
七夕コンサート	地域	46,941		0	0	37,871
	300名					
	0円					
救急法基礎講習&救急員養成講習	地域	87,492		79,180	0	79,180
	88名					
	3200円					
親子で作る手作りパーカーハウス教室	地域	10,727		4,200	6,682	3,485
	10名					
	700円					
第8回桜まつり	地域	45,694		64,030	0	45,694
	800名					
	物販として					
地域活動グループフォローアップ研修	高齢者	648		0	0	0
	22名					
	0円					
栄養講座	高齢者	5,786		0	5,000	786
	42名					
	0円					
顔ヨガ講座	地域	14,012		0	13,364	0
	25名					
	0円					
スクエアステップグループリーダー研修	地域	560		0	0	0
	20名					
	0円					
スクエアステップフォローアップ講座	地域	18,705		0	16,705	2,000
	31名					
	0円					
筋肉運動教室	地域	6,218		0	5,568	0
	11名					
	0円					
		342,616		147,410		

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
ほっとフレンズ2017春 ボランティア研修・説明会・春祭り	障害児・障害者					
	61名					
	0円	708		0	0	708
幼児のための短期救急法	地域					
	17名					
	100円	8,585		800	3,500	4,930
ワークショップ	地域					
	90名					
	0円	0		0	0	0
防災センターに行ってみよう お昼はカフェでランチ	障害児・障害者					
	6名					
	0円	0		0	0	0
		9,293		800		

平成28年度 自主事業報告書

横浜市常盤台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ときわの森 子育て広場	目的：親子のふれあい及び親同士・子同士の交流の場を目的とする。 内容：下記に内容で開催。 (4月こいのぼり作り (5月) 音とリズム遊びとおやつ試食会 (6月) 緑川先生と親子体操(9月) お話会とミニ運動会 (11月) 緑川先生と親子体操 (2月) おはなし会とおひなさまに変身	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回原則第4木曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	目的：成人・高齢者を対象とした健康維持・増進を目的とした体操教室。 内容：椅子を使用して無理なくストレッチと体操をする。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 レッツトライステップエアロ	目的：中高年、子育て中の母親などを対象として日頃の運動不足解消を図る。 内容：ステップ台を使用して行うエアロビクスとストレッチ体操。高齢者が行う体操より運動量が多い内容。	平成28年4月～平成29年3月 毎月2回 原則第1・3水曜日 計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ときもり倶楽部	目的：地域の高齢者の交流の場所。 内容：ボランティアが中心となって、脳トレーニング・カラオケ・茶話会などを行う。	平成28年4月～平成29年3月 毎週水曜日 計50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和菓子&パン教室	目的：比較的若い世代の方々に気軽に参加してもらうことを目的とした料理教室。出来ればケアプラザにおける調理ボランティアの発掘にもつなげたい。 内容：隔月で開催 種類を変えて、パンや和菓子など初めての方中心で作りやすいメニューを講師と一緒に作成し試食する。	平成28年4月6月10月12月平成29年2月 原則偶数月1回 計5回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン	目的：地域住民が皆で歌う事で交流を図り声を出すことで脳の活性化につながる。又、歌を通じて集うことで引きこもりを予防する。 内容：ピアノの伴奏にあわせて、なつかしい歌をみんなで歌う。11月の利用者発表会で披露した。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第1火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 「食育について学びましょう」	目的：健全な食生活を幼児期から実践できる事を目的とする。 内容：管理栄養士を招いて幼児期の栄養バランスを考え実際に調理したものを試食してもらい、食に関する知識を学ぶ。	平成28年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症を正しく理解する事で、認知症の方々への温かい目で見守ることのできるサポーターを増やす。 内容：各地域の自治会・ケアプラザの参加者・地域住民に向けて認知症の理解を深める講座を開催する。	4月・6月・7月・9月 平成29年2月2回 3月2回 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護されている方々の心のケアと情報交換などを行う交流会。 内容：介護者を対象としたメンタルケアのための意見交換会や薬やサプリメントの話しや介護施設の見学会を開催した。	平成28年5月7月 9月11月平成29年 1月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわカフェ	目的：多目的ホールを活用し、ケアプラザ・コミュニティハウスに気軽に立ち寄れる憩いの場所を目的とする。 内容：民生委員とボランティアが協力して、手作りケーキ付きでコーヒーやお茶を100円で提供する。障がい者施設による手作りパンの販売も行う。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第4金曜日 年9回(9・11・3月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森ハトコ広場	目的：平日に来られない親子のため、自由に遊べる場所を多目的ホールを解放して、平日来られない父親にも来てもらおう。 内容：積み木や絵本などで広いスペースで親子同士で交流しながら遊ぶ。	平成28年5月11月 平成29年3月 第1土曜日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹き矢	目的：地域住民の健康作りとして、年齢を問わずに誰でもでき、腹式呼吸をベースに精神力や集中力・血行促進と細胞の活性化など健康増進効果を目的としている。 内容：専用の危険のない矢を用いて的に当てるというスポーツ吹き矢。	平成28年4月～平成29年3月 毎月2回 原則第2・4水曜日 年23回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貯筋運動	目的：寝たきり予防を目的とした運動教室。 内容：専用コーチの指導にならって足腰を毎日動かす事で筋肉を鍛えられ、貯めていく運動。	平成28年4月～平成29年3月 原則第2木曜日 14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活講座	目的：老い支度に関するテーマの講座で権利擁護への認識を高めてもらう。 内容：1回目、遺言・相談や成年後見制度についての話し。2回目「物とこころの整理」の講座。3回目、認知症になった場合のお金の管理について。4回目、空き家を生かして人生設定講座。	平成28年6月 10月11月12月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップでエクササイズ	目的：地域住民の健康作り体力作り、認知症予防を目的とする。 内容：専用マットを使用してマス目にそって様々なパターンで歩行していく脳トレーニング。	平成28年4月～平成29年3月 第2金曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス	目的：ダンスのステップなど脳トレーニングをすることで、介護予防認知症予防を図る。 内容：講師を招いて、運動靴でもできる社交ダンス主に高齢者を対象に開催する。	平成28年4月～8月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズ	目的：地域住民の健康作りを目的とする。 内容：体操するロボットを用いて脳トレーニングも一緒に行う。	平成28年9月10月 11月12月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座	目的：高齢者が住み慣れた地域で介護予防を意識してもらう。 内容：運動・口腔ケア・栄養の話など認知症予防に関連した講座を行う。	平成28年9月3回 10月1回 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防講座 鎌谷町	目的：高齢者が住み慣れた地域で介護予防を意識してもらう。 内容：運動・口腔ケア・栄養の話など認知症予防に関連した講座を行う。	平成28年11月2回 12月2回 計4回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ 初級韓国語講座 A	目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。 内容：基本的な単語・文法・会話などを楽しく学ぶ。韓国語中級コースの講座。	平成28年4月～平成29年3月原則毎月第1・3火曜 計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ 初級韓国語講座 B	目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。 内容：基本的な単語・文法・会話などを楽しく学ぶ。韓国語初級コースの講座。	平成28年4月～平成29年3月毎月第1・3火曜 計15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティア活動	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共用部分の庭などの整備をボランティア中心で活動し、交流を深めていく。 内容：季節の花植え・野菜の栽培などを定期的に行ってもらおう。イベント時は寄せ植えをして販売する。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回（4月のみ2回）原則第3月曜日 年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	目的：活動団体の交流の場を設け、お互いに活動内容を情報交換する事で活動が活発になる。 内容：団体の紹介や意見交換を行う。昼食を楽しんでのらい、他のボランティア団体のウクレレ&フラダンスを鑑賞する。	平成28年6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパのための育児講座	目的：父親に育児の興味を持ってもらうためのきっかけ作り。 内容：日本育児普及協会の講師を迎えて、父親による絵本の読み聞かせを子どもに読んで聞かせる講座。	平成28年9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場 プール	目的：水遊びを通して親子の交流を図る。 内容：デイサールームに面した庭でビニールプールで水遊びを行なう。学生ボランティアをお願いして一緒に遊ぶ。	平成28年7月1回 8月2回 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中学生のための ボランティア講座	目的：近隣の中学生を対象にボランティアに関心もってもらうための講座。 内容：ボランティアについての話しをした後、デイサービスでのレクリエーション体験をして高齢者と交流する。	平成29年3月 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコママの子育てコーチング	目的：子育てが気持ちから楽にできる事を目的とする。 内容：子育てコーチングの講師を招いて会話形式ですすめていく。	平成28年4月6月10月 第1木曜日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2016夏ボランティア研修・説明会・夏まつり	目的：障害を持っている子どもたちを対象とした余暇支援。同時にボランティアに障がいに関して理解を深めてもらう機会とする。 内容：レクリエーションとして、なつまつりを企画して模擬店などを中心に開催する。開催前にボランティア事前研修、説明会を行う。	平成28年8月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁教室	目的：地域住民の囲碁を通して交流を深めて、認知症予防も図る。 内容：初心者から経験者まで楽しめる囲碁教室。	平成28年4月～平成29年3月 毎月第2・4日曜日 計23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルキー秋フェスタ	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共催イベント。地域住民にの交流の場として、又子供から大人まで多くのボランティアが関わっていくことで地域とのつながりを目指すとしている。 内容：保土ヶ谷中学吹奏楽演奏・各種手作り品販売・ときわカフェの開催・福祉用具の展示と体験など。	平成28年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむクリスマス人形劇	目的：日曜日に親子同士で楽しいひと時を人形劇を通じて交流を図る。 内容：クリスマス人形劇として腹話術を行い、バルーンアートで簡単な動物を親と一緒に作る。サンタクロースに扮した職員がボランティアが作成したクッキーを子どもに配る。	平成28年12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の利用者発表会	目的：団体登録をしている方々の成果発表会。 内容：歌や演奏、ダンス、作品展示等を一日かけて行う。利用団体の日頃の努力の成果をお互いに披露しあう。ボランティアによる、花の寄せ植え販売、職員とボランティアで手作りの食品販売などを実施。	平成28年11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ヶ谷区民まつりの参加	目的：区民が多数来場する「保土ヶ谷区民まつり」の区内全ケアプラザ担当職員参加する事で、地域住民にとってケアプラザが身近で気軽に立ち寄れる場所である事を周知するための参加。 内容：パネル展示・来場者に保土ヶ谷やケアプラザ情報を周知できる内容での企画を計画して開催する。	平成28年10月 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録利用団体説明会	目的：新たな部屋利用のルールについての説明会とケアプラザについて再認識してもらう。 内容：マニュアルに添って利用方法を主に自主活動団体むけて説明していく。	平成28年12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内病院認知症講座	目的：地域住民に認知症に対する正しい知識をもってもらおう。 内容：育生会病院・保土ヶ谷中央病院、区役所から認知症に関連した情報や地域ケアシステムについての講演会。	平成28年10月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音と音楽で遊ぼう	目的：障がい児の余暇支援（放課後支援）。 内容：特別支援教育士のもと打楽器・ピアノなどを活用して音楽を通じて発達に片寄りのある子どもを対象に特別支援感覚の統合・調整を行う。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回（5月10月1月を除く） 原則第1水曜日年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕コンサート	目的：近隣の大学と地域住民との音楽を通じて交流する。 内容：横浜国立大学吹奏楽団による七夕にちなんだ曲や昔懐かし曲などの演奏会。	平成28年7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法基礎講習&救急員養成講習	目的：赤十字救急法を学びいざという時の対処を身につける。 内容：三日間で心肺蘇生法・AEDの使用法・傷の手当て・三角布の使用法・救急搬送・担架搬送などを学ぶ。	平成29年1月に3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で作る手作りパーカーハウス教室	目的：夏休み中に親子で参加して、交流を図る。 内容：親子で行うパン教室、手作りのコロケとパンを作成し試食する。	平成28年7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第8回桜まつり	目的：ケアプラザとコミュニティハウスの共催イベント。地域住民に楽しんでいただくとともにケアプラザ・コミュニティハウスに関心を持っていただく機会の提供。 内容：バザーの開催。・キッズフリーマーケット。 ・ボランティアと職員の共同作業による手作りちらし寿司・焼きそば・桜もちなどの販売。 ・園芸ボランティアによる花販売。・近隣農園の方による野菜販売。・民生員によるときわカフェの開催。	平成29年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動グループフォローアップ研修	目的：きらりシニア塾においてボランティアリーダーとして活躍している方のフォローアップ。 内容：シナップソロジーを健康運動指導士を招いて行う。	平成29年1月 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄養講座	目的：高齢者が元気でいられるよう自らの生活改善を取り込む機会の提供。 内容：主に低栄養について管理栄養士を招いて学ぶ。	平成29年1月 年1回
顔ヨガ講座	目的：地域の高齢者の心身の健康作り。 内容：口腔ケアも含め、顔の筋肉を使ったり、頭の体操も行う。	平成29年2月 年1回
スクエアステップグループリーダー研修	目的：スクエアステップのボランティア向け、支援者のフォローアップ。 内容：実施方法の見直しや困りごとなどの意見交換会。	平成29年1月 年1回
スクエアステップフォローアップ講座	目的：スクエアステップの参加者と、支援者のフォローアップ。 内容：実施方法の再確認と参加者同士の交流会。	平成29年3月 年1回
筋肉運動教室	目的：地域住民の健康作り。 内容：セラバンドを使用しての筋力体操。	平成29年3月 年1回
ほっとフレンズ2017春ボランティア研修・説明会	目的：障害を持っている子どもたちを対象とした余暇支援。同時にボランティアに障がいに関して理解を深めてもらう機会とする。 内容：レクリエーションとして、春まつりを企画して模擬店などを中心に開催する。開催前にボランティア事前研修、説明会を行う。	平成29年3月 2回
幼児のための短期救急法	目的：いざという時のために子育て中の親を対象とした短期救急法講座。 内容：子どもに起きた事故時のAEDの取り扱い方法を学ぶ	平成29年3月 計 1回
ワークショップ	目的：老後も住み続けられるまちづくりをテーマにした地域住民によるワークショップ。 内容：地域住民が集まり、横浜国立大学関係者のサポートを得て年間数回の会合を持つ。常盤台地区にとって必要な取り組みを検討し、地域で連携して老後も住み続けられる地域づくりをすすめる。	平成28年7月10月 平成29年2月 年3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防災センターへ 行ってみよう お昼はカフェで ランチ	目的：障害を持っている子とその親が安心して外出できる 活動場所に地域の資源など利用して交流を図る。 内容：横浜市防災センターへの見学会とカフェでランチを する。	平成29年2月 年1回